

## 一般社団法人日本CFO協会2019年度事業報告書

自2019年4月1日 至2020年3月31日

### 1. 事業報告

当期は、日本では令和への改元、G20大阪サミット、ラグビーのワールドカップといったイベントが多くございましたが、第四四半期に入り新型コロナウイルス感染症の世界的拡大という事態を迎え、経済効果が期待されていた2020年の東京オリンピックが1年間の延期を余儀なくされるなど、世界レベルで行動制限や経済活動の停滞に直面することとなりました。加速的に進歩を続けるデジタルテクノロジーは、このコロナ禍においても企業オペレーションの巧拙を二分化し、事業活動もより一層サイバー空間へと広がりを見せる中で存在感を増しています。世界的に先行きが不透明且つ不安定な経営環境の中で、コロナ禍が与える経営への影響は計り知れず、経営者のマネジメントスタイルにつきましても抜本的な変革を迫られています。

こうした環境下において、当期も持続的成長を促す一連のコーポレートガバナンス改革の実践的な改革に向けた支援や、旧来的な事業管理を中心とした経営から脱却し、より大きなリスクに向かって挑戦する新しい企業経営体制の構築を支援することを目的に、様々なサービスを会員の皆様にご提供させて頂きました。具体的な活動内容は以下の通りです。

#### (1) 教育・啓蒙活動

- ・ 会員に対する情報提供の場として開催しているCFOセミナーを、以下の通り計15回開催しました。

| (開催日)  | (セミナータイトル)   |
|--------|--|
| 4月18日  | これから始めるIFRS対応<br>～IFRSの活用方法と最近の動向を踏まえた導入方法の解説～     |
| 5月16日  | 事業報告等と有価証券報告書の一体的開示について                            |
| 5月30日  | 移転価格税制 平成31年(令和元年)改正<br>-DCF法、所得相応性基準、無形資産に関する最新事情 |
| 6月6日   | ネイティブ相手に堂々と渡り合える英語交渉術<br>～あなたを交渉巧者に変える8つのタイミング～    |
| 6月20日  | データ活用による先制型経営リスク管理 ～OODAをITでどう実現するか～               |
| 7月4日   | WinActor® Cast on Callの魅力 ～WinActorの従量課金版登場～       |
| 7月18日  | なぜいまインドなのかー 次の10年を見据えた挑戦への第一歩                      |
| 9月05日  | 企業のかで社会を変える Lead for change - 企業内法務の役割と活用          |
| 9月19日  | CFOのリーダーシップによって戦略的に間接材コスト削減は簡単に「できます」              |
| 10月17日 | 決済の高度化が開く未来<br>～経理業務の電子化・高度化がもたらす業務の効率化と生産性向上～     |
| 11月7日  | AIチャットボットを活用した社内業務自動化による働き方改革の推進について               |
| 12月5日  | CFOの履歴書～CFOは魅力的な職業、そしてCFOへの道は多様～                   |
| 2月6日   | 未来志向のFP&A機能強化の必要性和日本版FP&Aプログラムのご案内                 |

- 2月20日 今、求められるサイバーリスクマネジメントとは  
～高度なデジタル化が進むビジネス環境で勝ち抜くために～
- 3月19日 中国ビジネス環境の最新状況と新型肺炎問題の先に起きること  
～国境を越えた戦国時代の幕開け～

- ・啓蒙活動の観点より会員の方以外にも対象を拡大し広くご案内を行ったイベントとして、当期も以下のイベントを開催しました。

- 5月29日 研究会「デジタルトランスフォーメーションと経営管理の高度化」
- 7月17日～9月30日 グループ経営管理フォーラム（ヴァーチャル・イベント）
- 7月30日 CFO NIGHT!!2019
- 11月21日 FP&Aフォーラム・ジャパン2019  
デジタル時代の経営・事業戦略を支えるFP&A機能の実装と強化
- 12月18日 CFOフォーラム・ジャパン2019  
デジタル時代に求められる未来志向の企業経営  
成長戦略を支える管理基盤の構築と羅針盤機能の強化  
ベンチャーCFOフォーラム・ジャパン2019  
上場ベンチャーCFO経営改革の軌跡

尚、3月5日に開催を予定していたCFO NIGHT!!2019 in Osakaは新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止しました。

- ・法人会員を対象に、CFO相当の役員に限定した朝食会「CFOラウンドテーブル」を4回開催しました。また、次世代のCFOを担う方々を対象とした勉強会「次世代CFO部会（Next CFO Society）」を5回開催しました。

#### CFOラウンドテーブル

- 7月12日 “新金融”決済インフラの理解と対応
- 9月5日 企業変革と持続的企業価値向上を担うCFOの役割
- 11月19日 日本企業のトランスナショナル化を経営課題に

#### 次世代CFO部会（Next CFO Society）

- 8月27日 マイクロソフトのデータに基づく戦略策定  
～ITを活用して意思決定をより効率的に・効果的に～
- 9月26日 長期的企業価値と制度会計
- 11月28日 企業価値向上を支えるグローバル税務の重要性～実務家の視点から
- 12月10日 トレジャリー機能の戦略的活用とその条件  
～Task OrientedからStrategy Orientedへ～
- 2月27日 提言「持続的企業価値向上を推進するCFO機能の強化」  
～欧米型CFO機能の導入と強化（IRやM&AとPMIを含むCFO機能全般について）

- ・2014年度に発足したテーマ別の部会「M&A部会」「グローバル財務部会」、「グループ与信管理部会」（旧グローバル取引先管理部会）、「デジタルテクノロジー部会」（IBAI・ロボティクス部会）および、個人会員限定の部会である「CFOリーダーシップ部会」については、テ

一マ別に掘り下げる手法が必ずしも会員の皆様のニーズに合わなくなってきていたことから、既に予定されていた部会以外について当期は中止し、来期以降に向けて見直すこととしました。

#### CFOリーダーシップ部会

4月17日 オリックスグループCFOとしての経験と学び

5月15日 「新金融」決済インフラの理解と対応

6月19日 働き方改革は「準備」働く人改革こそ「本丸」

- ・中部地区の活動としてPwCあらかた監査法人との共催にて実施している中部地区「経理役員・部長懇話会」を1回実施しました。3月5日に開催する予定の会合は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。

9月6日 三菱重工の経営改革とCFOの役割

- ・関西地区の会員の会合として、「関西地区友の会」を2回開催しました。

6月7日 企業変革と企業価値最大化を担うCFOの役割

9月20日 コニカミノルタのグローバル財務管理～TMSとRPAの導入～

- ・東京大学公共政策大学院(GraSPP)と武蔵野大学国際総合研究所(MIGA)が主催するシンポジウムに協力しました。

11月1日 コーポレートガバナンスシンポジウム

- ・2018年度（第三期）より多摩大学への寄付講座として開催しているベンチャーCFO育成講座を、当期（第四期）も全6回開催しました。

- ・個別テーマについての専門性向上を狙いとした実務研修講座を当期も開催しました。

#### RPA（ロボティクス）体験&トレーニング講座

初心者のための「連結決算基礎講座」

収益認識に関する会計基準と会計・税務実務への影響を学ぶ

- ・企業経営のコアを成すコーポレート・エグゼクティブ（CFO、CHRO、CLO、CRO）のあり姿を横断的に学び、議論を通じて理解を深めることを目的に、コーポレート・エグゼクティブ養成講座を開催しました。

- ・昨年度より協力を行っているリードエグジジションジャパン株式会社が主催する「会計・財務EXPO」に当期も協力を行い東京（5月29日から3日間）、大阪（11月13日から3日間）、名古屋（2月12日から3日間）で展示会を行いました。

- ・オンライン情報誌「CFOFORUM」を毎月発行しました。

## （2）資格・検定活動

- ・一般社団法人金融財政事情研究会と共同で実施しているプロフェッショナルCFO資格試験の受験者数は414人と前期比195人の減少となり、受験者は累計1,883人になりました。

- ・ 経済産業省経理・財務人材育成事業経理・財務スキル検定（FASS検定）の受験者数は5,634人と前期比480人の増加となり、受験者は累計64,105人になりました。
- ・ 専門性の高い実務領域のスキルを可視化するための施策として昨年度導入致しました「連結決算実務検定の受験者は44人と前期比10名の減少となり、受験者数は累計で236人になりました。
- ・ 当期末時点における資格認定者数は、ジェネラルCFOが393人、グローバルCFOが273人、プロフェッショナルCFOが305人、スタンダードCFOが318人となり、CFO資格認定者は合計で1,289人となりました。

### （3）調査・研究活動

- ・ 経営・財務分野のさまざまなベンチマーク情報を提供する目的で「財務マネジメント・サーベイ」を以下のテーマにて6回実施しました。

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 第73回 | グローバル化に伴う財務・リスク管理体制の実態と課題2019       |
| 第74回 | 経理財務部門のデジタルトランスフォーメーションに関する実態と課題の調査 |
| 第75回 | 間接材購買コストのマネジメントに関する実態調査             |
| 第76回 | グループガバナンスと事業ポートフォリオマネジメント           |
| 第77回 | 会計監査の現場をめぐる現状と課題                    |
| 第78回 | DX推進に向けたIT及びIT投資マネジメントに関する実態調査      |

- ・ 日本版FP&Aプログラム開発に向け、米国の財務教育団体AFP（Association for Financial Professionals）との提携のもと、12社の経営企画・経営管理分野の専門家によるFP&Aプログラム・ワーキンググループを組織し、2019年7月27日から9月14日まで全6回にわたり米国のFP&A教育プログラムについての研究会を開催しました。管理会計に企業財務理論を加えた財務予測実務を中心とした体系的な教育プログラムとして、日本企業においても有効なプログラムであるという結論に達したことから、2020年1月に米国AFPと正式なライセンス契約を締結し、2020年度に日本版FP&Aプログラムを導入することになりました。

### （4）会員数

- ・ 個人会員の新規入会者数169人、法人会員の新規入会社数14社で、当期末の会員数は個人会員が1,973人、法人会員は220社となりました。

### （5）損益の状況

- ・ 売上高は120,850千円と前期比4,984千円減少しました。  
会員事業につきましては、入会金収入は2,875千円と前期比4,495千円の減少、会費収入は67,544千円と前期比2,231千円増加しました。検定事業につきましては、受験料収入は43,908千円と前期比786千円増加しました。
- ・ 費用につきましては、106,780千円と前期比4,388千円減少しました。
- ・ 営業利益は14,070千円と前期比1,083千円減少しました。当期純利益は14,447千円と前期

比で685千円の減益となりました。

## 2. 2020年度の活動

### (1) 活動計画

2020年2月より日本でも影響を与えた新型コロナウイルス感染症の影響は、一時的なパンデミックとは異なり世界中の人々への消費行動や価値観を変容させており、企業活動にも大きな影響を与えています。テレワークを余儀なくされた環境下で決算や業績予測を行った経理部門や、止めることができない資金業務をはじめ金融・資本市場の状況の注視が求められた財務門では、更なるデジタル化による業務高度化の必要性が顕在化したことに加え、CFOはポストコロナを見据えた新しい経営モデルへの変革をリードしていくことが求められています。

2020年度は弊会の創立20周年を迎えます。これまでの会員の皆様のご支援に深く感謝すると共に、会員の皆様の課題解決を支援させて頂くべく、資格認定、教育、調査研究、コミュニケーションそれぞれの事業分野において会員サービスの向上に努めていきます。特に、管理会計領域の実務スキル向上を目指した日本版FP&A教育プログラムの導入も予定しています。新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない厳しい状況ではありますが、オンライン・ツールを積極的に活用することで、付加価値が高いクリエイティブな仕事へと会員の皆様が取り組んでいただけますよう活動を充実させていく予定です。

### (2) 事業予算

2020年度は、入会金収入4,400千円、会費収入68,000千円、受験料収入52,500千円を予定しており、売上高は131,900千円を予定します。費用につきましては、20周年記念事業と致しまして約22,000千円の予算を確保しており税引前利益は310千円を予定しています。

以 上